

V. 一般演題 ポスター発表 (★マークは優秀発表賞審査対象演題)

P1 会場 (講義棟 3 1 階)

9:00~12:10

P-001am ★LSD 誘導体の合成と構造活性相関

○植田りな¹、中村佳代¹、田畑英嗣²、忍足鉄太²、夏莉英昭³、船田正彦⁴、高橋秀依¹
(¹東京理大薬、²帝京大薬、³新潟薬大薬、⁴湘南医療大薬)

P-002am ★ブロモドメインを標的とした AI 創薬による抗がん剤の創出

○野田夏実¹、千葉有紗¹、中村佳代¹、田畑英嗣²、忍足鉄太²、金井千里³、吉森篤史⁴、
田坂友彦⁵、夏莉英昭⁵、高澤涼子¹、高橋秀依¹ (¹東京理大薬、²帝京大薬、³IHC、⁴ITM、
⁵ASC)

P-003am ★フェンタニル誘導体の新規合成法の検討

○八木康樹¹、有田浩暢¹、瀬崎浩平¹、坂田遥佳¹、西本瑞葉¹、船田正彦²、富山健一³、
田畑英嗣⁴、中村佳代¹、忍足鉄太⁴、夏莉英昭⁵、高橋秀依¹ (¹東京理大薬、
²湘南医療大薬、³国立精神神経セ精神保健研薬物依存研、⁴帝京大薬、⁵新潟薬大薬)

P-004am ★チオキサントン誘導体を触媒として用いたアルケンの *E/Z* 光異性化反応

○中川聡太¹、須賀真悠子¹、中村佳代¹、本川正規²、田畑英嗣³、忍足鉄太³、夏莉英昭⁴、
高橋秀依¹ (¹東理大薬、²ジエールサイエンス、³帝京大薬、⁴新潟薬大薬)

P-005am ★オキシム誘導体の *E/Z* 光異性化反応における基質一般性

○高橋実佑¹、須賀真悠子¹、高田琉聖¹、中村佳代¹、本川正規²、田畑英嗣³、忍足鉄太³、
夏莉英昭⁴、高橋秀依¹ (¹東理大薬、²ジエールサイエンス、³帝京大薬、⁴新潟薬大薬)

P-006am ★Berberine と相互作用する baicalin 類縁体の複合体形成能評価

○坂本有香、西村壮央、飯田千尋、菊地晴久 (慶應大薬)

P-007am ★紫外線照射によるヒト表皮角化細胞傷害に対するフラレン誘導体の防御効果

○山地 菜月¹、片岸 大紀²、片岡 裕樹³、大江 知之¹ (¹慶應大薬、²上智大理工、³日本薬大)

P-008am ★キノロンアルカロイド類のリパーゼ阻害活性および PPAR-gamma アゴニスト活性に関する研究

○松尾侑希子¹、野口 瑤^{2,3}、高須昌子^{2,4}、稲葉二郎¹、三巻祥浩¹
(¹東京薬大薬、²東京薬大生、³統数研、⁴東京女子大)

- P-009am ★カジナン誘導体の合成と細胞毒性評価
○大谷津文¹、横須賀章人²、三巻祥浩²、阿部秀樹¹（¹日本女子大理、²東京薬科大薬）
- P-010am ★GAS41 とヒストン H4 間の結合を阻害する cardenolide 類による肺がん細胞の増殖抑制
○岡部晃平¹、尹永淑¹、小柴明峰¹、長澤拓哉¹、高瀬翔平¹、竹谷孝一²、一柳幸生²井口巴樹²、三巻祥浩²、伊藤昭博¹、井上英史¹、林良雄^{1,3}（¹東京薬大生命、²東京薬大薬、³東京薬大院薬）
- P-011am ★アジド化 3-Nitro-2-pyridinesulfenate (Npys) 誘導体による細胞内タンパク質修飾の評価
○間中爽妃¹、藤川雄太¹、志田颯²、宮島康輔²、田口晃弘²、林良雄^{1,2}
（¹東京薬大生命、²東京薬大薬）
- P-012am ★ENL とヒストン H3 間の結合を阻害する Brusatol による急性白血病細胞の増殖抑制
○和田悠杜¹、尹永淑¹、飛田祐里¹、長澤拓哉¹、高瀬翔平¹、一柳幸生²、伊藤昭博¹、井上英史¹、林良雄^{1,3}（¹東京薬大生命、²東京薬大薬、³東京薬大院薬）
- P-013am 0 ★PKH₂ 誘導体のビタミン K 側鎖切断反応における二重結合の重要性の評価
○須藤 駿太¹、中川 胡桃¹、小柳 芽生²、須原 義智^{1,2}、廣田 佳久^{1,2}
（¹芝浦工大院・創薬科学、²芝浦工大・生命科学）
- P-014am ★歪んだ多環式低分子化合物の合成法・修飾反応の開発
○高岡潤、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- P-015am ★ノルカラジエン選択的な(1+2)-環化付加による縮環式ビスシクロプロパンの合成研究
○林友菜、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- P-016am ★環境に配慮したイオン液体中金・白金触媒を用いるシクロブタン類の合成
○千秋妃美、石井奈穂、橋本善光、田村修、森田延嘉（昭和薬大）
- P-017am ★DIF-1 アミド誘導体のパラレル合成法の開発
○久米田大介、西村壮央、菊地晴久（慶應大薬）
- P-018am ★トリコカジニン D の合成研究
○渡邊紗衣、阿部秀樹（日本女子大理）
- P-019am ★DinapinoneA1 及び A2 の合成研究
○江藤大貴¹、李大葵¹、有馬志保¹、大城太一¹、内田龍児²、長光亨¹
（¹北里大薬、²東北医薬大薬）

- P-020am ★Rapid synthesis of 3,4-fused indoles by sequential formation of C(sp²)–N bond and C(sp³)–N bond using nitrene species
○Nithijarasrawee Pisit, Isono Tomohiro, Takaoka Jun, Shingo Harada,
Tetsuhiro Nemoto (千葉大学大学院薬学研究院)
- P-021am ★分子内脱水型環化反応による含酸素複素環の構築
○森川夢¹、牧野宏章^{1,2}、野上ちはる¹、深野彩由季¹、末木俊輔^{1,2}、
穴田仁洋^{1,2} (¹武蔵野大薬、²武蔵野大薬研)
- P-022am ★多様な酸化度のイリドイド配糖体合成に向けた重要中間体の設計と合成
○飛田真智子¹、楽満憲太²、北島満里子²、石川勇人² (¹千葉大薬、²千葉大院薬)
- P-023am ★環化-カルボニル化反応による crambescins A-C のキラル合成と構造修正
○染谷杏花、岳天慈、日下部太一、¹高橋圭介、加藤恵介 (東邦大薬)
- P-024am ★カスケード型環化-カルボニル化-ダブル環化反応による hemibatzelladine J の全合成と構造決定
○岳天慈、馬目健志、前田彩夏、日下部太一、高橋圭介、加藤恵介 (東邦大薬)
- P-025am ★Shodoamide C の全合成と絶対立体配置の決定
○長谷川悦子¹、植木翔梧²、平田晃大²、供田洋²、内田龍児³、長光亨²、大多和正樹¹
(¹立教大理、²北里大薬、³東北医薬大薬)
- P-026am ★Roxburghiol A の不斉全合成
○野中洸志¹、山内理靖¹、中島誠也²、根本哲宏¹ (¹千葉大院薬、²東大院薬)
- P-027am ★Amurensin M の全合成研究
○位寄愛美¹、中島誠也²、根本哲宏¹ (¹千葉大院薬、²東大院薬)
- P-028am ★2-ピリジルケトンを用いたジアステレオ選択的クロスピナコールカップリング反応の開発
○三原悠慎、栗原崇人、根本哲宏 (千葉大院薬)
- P-029am ★ベンジルアルコールの直接的アリル化反応の開発
○内山龍之助¹、牧野宏章^{1,2}、佐藤哲¹、末木俊輔^{1,2}、穴田仁洋^{1,2}
(¹武蔵野大薬、²武蔵野大薬研)

- P-030am ★エポキシドに対する硫黄原子導入反応の開発に関する研究
○植木俊行¹、平島真一¹、小田晋²、大神田翔太¹、藤野亮¹、廣田瑛紀¹、松島恭征¹、
中島康介¹、三浦剛¹（¹東京薬大薬、²東洋大理工）
- P-031am ★ブテノリドダイマーの異性化の発見と反応機構の解析
○指方 啓¹、小田 みづき²、吉田 智喜²、田中 信忠²、長光 亨²、
大多和 正樹¹（¹立教大理、²北里大薬）
- P-032am ★キョウチクトウ科キョウチクトウ *Nerium oleander* var. *indicum* 地下部の化学成分と細胞毒性
○米山達也、吉澤由佳、三宅克典、横須賀章人、三卷祥浩（東京薬大薬）
- P-033am ★天然抽出物と固相合成法を利用した非天然型テルペンペプチドの創出
○塩田藍子、西村壮央、菊地晴久（慶應大薬）
- P-034am ★フェロトーシス抑制作用を有する新規脂溶性低分子化合物の探索
○井口莉里花¹、渡邊莉菜¹、加藤彩加¹、加藤主税²、竹腰進³、廣田佳久¹、
須原義智¹（¹芝浦工大薬理工、²静岡大農、³東海大医）
- P-035am ★沖縄県竹富島産海洋シアノバクテリア由来新規カテプシン D 阻害剤の単離と構造決定および生物活性
○山路悠馬、岩崎有紘（中央大院理工）
- P-036am ★鳩間島産未記載種海洋シアノバクテリア由来新規ジテルペン化合物 tachibarol 類の単離および構造決定
○原駿太¹、 Ghulam Jeelani²、 野崎智義²、 岩崎有紘¹（¹中大院理工、²東大医）
- P-037am ★微生物資源を活用した抗悪性中皮腫化合物の探索
○加賀美楓果¹、大手聡¹、小田原文香¹、佐藤龍洋²、供田洋¹、大城太一¹
（¹北里大薬、²愛知がんセ研）
- P-038am ★真菌 *Paramyrothecium* sp. BF-1049 株の生産する新規スピロ化合物の単離精製および構造決定
○小田原文香¹、大手聡¹、加賀美楓果¹、坂口夏菜²、福本幸大²、佐藤龍洋³、供田洋¹、大城太一¹（¹北里大薬、²北里大院薬、³愛知がんセ研）
- P-039am ★モクレン科植物オガタマノキ *Magnolia compressa* の成分探索
○矢嶋優香、大越一輝、北畠和己、月本光俊、羽田紀康（東京理大院薬）

- P-040am ★脳由来神経栄養因子 BDNF を標的とした天然物由来の化合物の探索
○横田直希¹、尹永淑¹、望月麻緒¹、岡琴恵¹、松野倫代²、川原信夫²、
林良雄^{1,3}（¹東京薬大生命、²高知県立牧野植物園、³東京薬大院薬）
- P-041am ★キノンメチド化学と加水分解耐性エステルを融合した細胞内滞留型エステラーゼプローブ
の開発とその応用
○坂巻李海¹、林良雄^{1,2}、小松徹³、藤川雄太¹（¹東京薬大生命、²東京薬大薬、³東大院薬）
- P-042am ★SARS-CoV-2 3CL プロテアーゼ活性を高感度に検出する蛍光基質の開発
○白濱彩音¹、山内勇輝²、今野翔^{1,2}、田口晃弘^{1,2}、谷口敦彦^{1,2}、林良雄^{2,3}
（¹東京薬大薬、²東京薬大院薬、³東京薬大生命）
- P-043am ★ナノ粒子ゲルの分離精製法の開発
○渡邊ちひろ¹、村山周平²、加藤 大²（¹昭和医大薬、²昭和医大院薬）
- P-044am ★非侵襲的バイオマーカー開発に向けた Menadione の網羅的定量法確立
○高野叶夢¹、田上晋太郎¹、浅野公志¹、西川美宇²、生城真一²、廣田佳久¹
（¹芝浦工大院・創薬科学、²富山県大・機能性食品工学）
- P-045 am ★Dextromethorphan の中枢鎮咳作用における脂質膜相互作用の関与
ー卵黄レシチンリポソームの膜物性に与える影響ー
○小木曽礼奈、鶴元辰伍、黒澤裕哉、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）
- P-046 am ★分光法を用いたコアモルファス製剤の定量評価法の検討
○長内満里愛¹、小出達夫²、滝井彩乃¹、廣田慶司¹、深水啓朗¹（¹明治薬大、
²国立衛研）
- P-047 am ★アクリル系ポリマーを用いたイオン液体含有テープ剤の開発
○小島優姫¹、高橋悠樹¹、岡本憲明²、浦松俊治²、藤井美佳¹、寺山涼子¹、廣田慶司¹、
深水啓朗¹（¹明治薬大、²大同化成工業）
- P-048 am ★アメナメビル-酒石酸共結晶の物性および体内動態の評価
○荒井直人¹、小林航¹、坂本菜沙¹、廣田慶司¹、工藤敏之²、山岸喜彰²、
伊藤清美²、北川宙輝³、小林正人³、深水啓朗¹（¹明治薬大、²武蔵野大薬、³マルホ株式
会社）

P2 会場（講義棟 3 2 階）

9:00~12:10

P-049 am ★リボソームに封入された薬物のラマン分光法による物性評価

○和久陽南子¹、山田凌也¹、浅井健正¹、藤本泰輝²、東頭二郎²、廣田慶司¹、
小出達夫³、深水啓朗¹ （¹明治薬科大学、²千葉大学大学院、³国立衛研）

P-050 am ★ラマン分光法を用いた細胞培養液中グルコース/乳酸モニタリング

○福田葉月、内田遥翔、深水啓朗（明治薬大）

P-051 am ★ラマン分光法による水溶液中の水素結合に対する温度の影響評価

○伊藤尊、内田蒼人、廣田慶司、深水啓朗（明治薬大）

P-052 am ★メラニン前駆物質誘導体の UVA 照射による構造変化と重合機構の検討

○菊川七海、棚田玲央、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）

P-053 am ★フェニトイン共非晶質の鼻粘液および緩衝液に対する溶解性の評価

○渡邊百々果、長友太希、入野玄暉、長澤花音、鈴木直人、鈴木豊史（日本大薬）

P-054 am ★連続造粒機 LaVortex G[®]を用いた医薬品原料の攪拌混合能力に基づく装置内滞留時間分布の評価

○紺野晃生¹、鈴木豊史¹、小柳敬太²、長友太希¹、鈴木直人¹、上野明紀²、佐々木哲朗^{3,4}、
大塚 誠^{2,4,5} （¹日本大・薬、²(株)アーステクニカ、³静岡大院・光医工、
⁴静岡大・電子工研、⁵日本大・薬・薬研）

P-055 am 連続造粒機 LaVortex G[®]による医薬品原料混合における装置内滞留時間に及ぼす造粒用攪拌羽根数の影響

○鈴木豊史¹、紺野晃生¹、神崎諒²、太田樹²、小柳敬太³、亀井真之介²、松本真和²、
上野明紀³、佐々木哲朗^{4,5}、大塚 誠^{3,5,6} （¹日本大・薬、²日本大・生産工、
³(株)アーステクニカ、⁴静岡大院・光医工、⁵静岡大・電子工研、⁶日本大・薬・薬研）

P-056 am ★Norfloxacin とその痙攣誘発作用を増強する NSAIDs の分子間相互作用と痙攣誘発作用増強関係性の検討

○畑朝陽、盛武航太、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）

P-057 am ★ニューロメディン B の凝集に対するドパミンと銅の協調的促進効果

○人見優貴¹、狩野颯斗¹、栗原卓巳²、三浦隆史^{1,2} （¹国際医福大薬、²国際医福大院薬）

P-058 am ★腎疾患患者の尿中グリコサミノグリカン由来二糖の分析

○嚴 浩允¹、石井 孝昌¹、平井 健吾¹、東 恭平²、岩崎 雄介¹、伊藤 里恵¹、東 伸昭¹、東 高伸³、臼井 俊明³、山縣 邦弘³、穂山 浩¹ (¹星薬大、²東京理大薬、³筑波大医)

P-059 am ★LC-MS/MS によるマウス生体試料中キヌレニン経路代謝物の高感度分析手法の検討

○陳 康榮¹、程田 聖也¹、伊藤 里恵¹、岩崎 雄介¹、穂山 浩^{1, 2}
(¹星薬大、²国立衛研)

P-060 am ★へパリンおよびへパラン硫酸分析のための大腸菌を用いた Heparitinase 発現に関する研究

○伊藤直哉¹、板垣彩乃¹、石井孝昌¹、伊藤里恵¹、岩崎雄介¹、東恭平²、東伸昭¹、穂山 浩¹ (¹星薬大、²東京理大薬)

P-061 am ★がんの増悪を引き起こす ZBTB2 による HIF-1 活性化機構の解明

○川崎楽樹¹、横川真梨子¹、鈴木翔太¹、寒河江彪流¹、榎本翔太¹、原田浩²、大澤匡範¹
(¹慶應大薬、²京大院生命科学)

P-062 am ★ポリ A 結合タンパク質 PABPC1 と翻訳抑制因子 Paip2 の結合様式の解明

○山越若菜¹、横川真梨子¹、加藤菜乃¹、寒河江彪流¹、石田英子¹、細田直²、星野真一²、大澤匡範¹ (¹慶應大薬、²名市大院薬)

P-063 am [²¹¹At]MABG による抗腫瘍効果増強に有用な薬剤の探索

○大島康宏¹、佐々木一郎¹、花岡宏史²、右近直之³、坂下哲哉¹、石岡 典子¹ (¹QST 高崎、²関西医大、³福島医大)

P-064 am ★血中及び尿中バンコマイシンの簡易測定法の開発

○白木友海¹、大島 有貴²、加藤 大³ (¹昭和医大薬、²昭和医大江東豊洲病院、³昭和医大院薬)

P-065 am ★Preparation of Amorphous Telmisartan via Melt-Quenching Technique and Its Stability

○Thanyaporn Channamom, Keisuke Ueda, Kenjiro Higashi, Kunikazu Moribe (Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Chiba University)

P-066 am 薬物モデル Bromocresol Green の UV-Vis スペクトル変化に基づく γ -Cyclodextrin 包接による局所環境変化の検討

○槌田智裕、川畑隼土、後藤了 (東京理大薬)

P-067 am ★大規模調理施設における揚げ油の共用によるアレルギータンパク質の暴露評価
○市橋璃奈¹、鮫島舞¹、鈴木美成²、伊藤里恵¹、岩崎雄介¹、福家辰樹³、穂山浩^{1,2}
(¹星薬大、²国立衛研、³成育医療研セ)

P-068 am ★HPLC-UV を用いた経口がん分子標的薬の血中濃度の簡易測定法の開発
○神宮 慎¹、丸山真一²、加藤 大³ (¹昭和医大薬、²済生会横浜市東部病院薬、³昭和医大院薬)

P-069 am ★尿中微量変異 cell free DNA の簡易で安価な測定法の開発
○小川赳生¹、福島諒²、上杉綾¹、加藤大² (¹昭和医大薬、²昭和医大院薬)

P-070 am ★特異値分解を用いた抗酸化剤による天然形 Vitamin B₁₂ の還元反応の速度論解析
○石黒雅央、小林拳志郎、鈴木有美香、古賀遼太郎、槌田智裕、後藤了 (東京理大薬)

P-071 am ★二官能基同時誘導体化法による生体試料中グルタチオン類の簡便な LC-MS/MS 分析法の開発
○杉浦良太¹、水野彩花¹、伊藤里恵¹、岩崎雄介¹、穂山浩^{1,2} (¹星薬大、²国立衛研)

P-072 am ★アムロジピンとアスピリンを用いた分子複合体の作製とその物性評価
○山口航輝、市川高弘、山下雄史、井上元基 (星薬大)

P-073 am ★コフォーマーの構造異性がリルゾール分子複合体の物性に与える影響
○八幡優佳、山下雄史、井上元基 (星薬大)

P-074 am ★二軸造粒機を用いた D-マンニトール顆粒生産プロセスの最適化
○中村一葉、山下雄史、井上元基 (星薬大)

P-075am ★抗酸化能予測を目指したバニリル類縁化合物の安定有機ラジカル消去活性における各構造の立体障害及び共鳴安定化
○田中克実、棚田怜央、高塚美和、槌田智裕、後藤了 (東京理大薬)

P-076am ★グリチルリチンとグリチルレチン酸が卵黄レシチンリポソーム膜の流動性に与える効果
○中國 鴻志、堀住 裕介、槌田 智裕、後藤 了 (¹東京理大薬)

P-077am ★AlphaFold-Multimer とその派生手法の予測精度の比較
○樋口大樹、清田泰臣、竹田一志鷹 真由子 (北里大薬)

P-078 am ★AhR による脂肪変性を介した MASH 発症メカニズムの解明

○大谷まい、竹島幸亮、坂井晶紀、浅野吉政、和田平、榛葉繁紀(日本大薬)

P-079 am ★ヒト胚性幹細胞モデルによるバルプロ酸誘発神経発達異常とエピジェネティック制御破綻

○橋爪美萌、浅井将、曾根秀子 (横浜薬科大学 大薬)

P-080 am ★学校給食における調理器具等の共用による卵タンパク質の曝露評価

○鮫島 舞¹、市橋 璃奈¹、鈴木美成²、伊藤 里恵¹、岩崎 雄介¹、福家辰樹³、穂山 浩^{1,2}
(¹星薬大、³国立衛研、³成育医療研セ)

P-081 am 徳島県を流れる吉野川河川水中の医薬品濃度とその特徴

○村橋 毅、香西 祐一朗 (日本薬大)

P-082 am PM2.5 構成成分による NF-κB のリン酸化を介した Foxp3 発現抑制機構の解析

○石原陸、長部誠、樋口敏幸 (日本薬大)

P-083 am JADER を用いた薬剤性パーキンソニズム (DIP) の発症リスクに関する性差・年齢差解析

○石黒翼、長部誠、樋口敏幸 (日本薬大)

P-084 am 成熟脂肪細胞における脂肪細胞分化関連転写因子およびアディポカイン 類の発現に及ぼすラズベリーケトンとその代謝物の影響

○小笠原 夢羽¹、浦丸直人²、長部誠¹、樋口敏幸¹ (¹日本薬大、²埼玉県大)

P-085 am 脂肪細胞分化初期における分化関連因子およびアディポカイン類の発現に及ぼすラズベリーケトンとその代謝物の影響"

○築茂花英¹、浦丸直人²、長部誠¹、樋口敏幸¹ (¹日本薬大、²埼玉県大)

P-086 am Capsaicin の代謝物である Vanillylamine は成熟脂肪細胞における脂肪分解を促進する

○櫛あゆみ¹、浦丸直人²、長部誠¹、樋口敏幸¹ (¹日本薬大、²埼玉県大)

P-087 am ACSL6 の細胞内における機能解析

○佐久間諒、鈴木梨々、桑田浩、原俊太郎 (昭和医大・薬)

P-088 am ★短期作成 MASH 病態モデルマウスを用いた PPAR 作動薬による MASH 治療効果の組織学的評価

○南澤乙衣、本多彰宏、田中伶奈、蓑毛雪兒、鎌田祥太郎、石井功
(¹昭和薬科大学・衛生化学)

P-089 am *PKCζ* と *CTNNBIP1* を高発現する Luminal B 型乳がんはホルモン療法の効果が低い
○野畑花奈、長島佑夏、多森翔馬、秋本和憲（東京理大院薬）

P-090 am ★好中球細胞外トラップによる炎症応答と LDL の影響
○岩倉 春姫、小濱 孝士、牧山 智彦、板部 洋之（昭和医大院薬）

P-091 am プロテアソーム阻害剤による PPAR γ 発現制御機構の解析
○平野敬子、長部誠、樋口敏幸（日本薬大）

P-092 am ★ヘパラナーゼ 1 は aPKC/NF-kB シグナル下で発現制御をうける
○的場聡尚¹、宮嶋倫¹、米野雅大¹、鈴木雅斗¹、宮下佳那美¹、勝本祥央¹、三輪有由奈¹、
多森翔馬¹、小谷仁司²、秋本和憲¹、須田貴司³、高橋智聡³、東伸昭⁴、戸井田敏彦⁵、
東 恭平¹（¹東京理大薬、²島根大医、³金沢大がん研、⁴星薬大、⁵千葉大院薬）

P1 会場（講義棟 3 1 階）

13:10~15:40

P-093 pm 細胞死誘導活性をもつ TRAIL-R1 を標的とした VHH 抗体 4 量体の作製
○西川毅（帝京平成大薬）

P-094 pm ★2-Methylcoprophilinamide (M-COPA) の胃がん細胞株における増殖阻害作用機序解析
○平井陽楓、小山亮祐、村田貴嗣、臼倉大輝、金井大和、塩釜龍之介、
下仲基之、椎名勇（東京理大理）

P-095 pm ★Dual FRET 法による PPAR inverse agonist 検出系
○宮崎栞、八代清香、宮本侑佳、本多彰宏、鎌田祥太郎、石井功
（¹昭和薬科大学・衛生化学）

P-096 pm 「感性アナライザ」によるプロポリス摂取が脳波へ与える影響の検討
○懸川友人、長島 由佳、鈴木知佳、大原厚祐（城西国際大薬）

P-097 pm LPS 誘導性全身炎症が腸管 ACSL4 発現に与える影響の解析
○中村壮汰、中原未遥、鈴木彩水、桑田浩、原俊太郎（昭和医科大学薬学部）

P-098 pm ★食品廃棄物由来のスフィンゴイド塩基による Caupase-14 の発現誘導
○梶山由羽¹、仙波悠太¹、長原礼宗¹、外山結恵²、高橋健司²、山本英作²、
安部智子¹（¹東京電機大院理、²ハナマルキ）

P-099 pm 実験創傷の極めて初期に、受傷シグナルが発現誘導する因子についての考察

○菊池直也、鈴木知佳、大原厚祐、懸川友人（城西国際大学）

P-100 pm ★ドラッグリポジショニングによる新規アルツハイマー病治療薬の開発

○日下部竜聖¹、森下蒼樹²、中北敏賀²、丸山敬³、曾根秀子¹、浅井将^{1,2}

（¹横浜薬大院・薬、²横浜薬大・薬、³埼玉医大・医）

P-101 pm ★パッションフルーツ種子エキスの長期投与は網膜色素上皮 ARPE-19 細胞においてミトコンドリアの酸化ストレス抵抗性を亢進する

○杉立悠¹、光武稔生²、川上晋平⁵、内田裕子⁵、森貞夫⁵、佐藤聡^{1, 2, 3, 4}

（¹東京理大薬、²東京理大院薬、³東京理大総研院 生命のゆらぎ研、

⁴東京理大総研院 データサイエンス医療研、⁵森永製菓 研 健康科学研セ）

P-102 pm ★神経膠芽腫細胞における環状過酸化物の抗がん効果と作用機構の解析

○谷口美帆¹、戸谷滉希¹、金恵淑⁴、佐藤聡^{1, 2, 3}

（¹東京理大薬、²東京理大総研院 データサイエンス医療研、

³東京理大総研院 生命のゆらぎ研、⁴岡山大院医歯薬）

P-103 pm ★細胞死における長鎖非コード RNA <I>NEAT1</I>の機能解析

○張天愛¹、三好哲也²、光武稔生²、佐藤聡^{1, 2, 3, 4}（¹東京理大薬、²東京理大院薬、

³東京理大総研院 生命のゆらぎ研、⁴東京理大総研院 データサイエンス医療研）

P-104 pm ★5-FU 耐性大腸がん細胞における核酸代謝調節機構の解明

○塚田みずほ¹、中山滉一朗¹、倉坂知夏¹、佐藤聡^{1,2,3}

（¹東京理大薬、²東京理大 総研院 データサイエンス医療研、

³東京理大総研院 生命のゆらぎ研）

P-105 pm 乳酸菌分解プラセンタ発酵液の皮膚への有用性

○松永佳奈子、小松靖彦（スノーデン株式会社開発本部バイオ研究室）

P-106 pm 乳酸菌発酵アスパラガスエキス末：表皮角化細胞間タイトジャンクションを強化する TLR2 アゴニスト含有粉末化粧品原料

○小松靖彦、松永佳奈子（スノーデン株式会社開発本部バイオ研究室）

P-107 pm ヘパラナーゼとシンデカンのサブタイプの結合親和性の検討

○史佳¹、高橋勝彦¹、奥輝明¹、中島元夫²、入村達郎³、東伸昭¹（¹星薬大、

²SBI ファーマ、³順天堂大医）

P-108 pm ★ヘパラーゼ阻害剤によるモデルマウスの皮膚炎症状の抑制効果

○田中大貴¹、東之蘭優輝¹、稲月悠¹、田中玲也¹、高橋勝彦¹、小宮根真弓²、中島元夫³、
入村達郎⁴、東 伸昭¹ (¹星薬大、²自治医大、³SBI ファーマ、⁴順天堂大医)

P-109 pm ★ヒトヘパラーゼ酵素活性に関わるアミノ酸残基の特定

○山岸典暉¹、史佳¹、高橋勝彦¹、福澤薫²、東伸昭¹ (¹星薬大、²阪大院薬)

P-110 pm ★ヘパラーゼが結腸癌細胞由来細胞外小胞の線維芽細胞への取り込みに与える影響

○中田莉帆¹、下島雪菜¹、中島康太¹、高橋勝彦¹、秋元義弘²、中島元夫³、
入村達郎⁴、東伸昭¹ (¹星薬大、²杏林大医、³SBI ファーマ、⁴順天堂大医)

P-111 pm ★ApoE と硫酸化糖鎖の結合を阻害する生薬由来物質の探索

○室崎颯月¹、坂口奈菜¹、八野桃圭¹、史佳¹、高橋勝彦¹、橋本唯史²、東伸昭¹
(¹星薬大、²国立精神・神経医療研究センター)

P-112 pm ★セルグリン-Fc 融合タンパク質のヘパラーゼ活性阻害効果の検討

○保立龍星、史佳、高橋勝彦、穂山浩、東伸昭 (星薬大)

P-113 pm ★Superoxide dismutase 3 の細胞内取り込みにおけるヘパラン硫酸の関与

○小川アカル、史佳、高橋勝彦、東伸昭 (星薬大)

P-114 pm ★NEK2A 相互作用因子発現抑制細胞における脂肪滴関連タンパク質の解析

○井手佑一郎¹、牧山智彦²、長谷川采香¹、小田暁斗¹、三ヶ尻智子²、小濱孝士²、
板部洋之² (¹昭和大薬、²昭和大院薬)

P-115 pm 細胞質型プロスタグランジン E 合成酵素の解析

瀬崎かな、堀江圭、○中谷良人 (帝京平成大薬)

P-116 pm ★新規抗マラリア薬候補化合物, 1, 2, 6, 7-tetraoxaspiro [7. 11] nonadecane (N-89) の作用機序に関する研究

○坂本沙祐里¹、森田将之²、平本一幸³、金恵淑⁴、綿矢有佑⁴、平岡修³
(¹湘南医療大学薬学部医療薬学科、²川崎医科大学医学部医学科、
³就実大学薬学部薬学科、⁴岡山大学大学院医歯薬総合研究科)

P-117 pm ★乳癌スフェロイドのヘパラーゼ依存性浸潤における NF- κ B 経路の関与

○酒井千莉¹、浅子麻衣¹、野崎笑美¹、矢倉健斗¹、高橋勝彦¹、中島元夫²、入村達郎³、
東伸昭¹ (¹星薬大、²SBI ファーマ、³順天堂大医)

P-118 pm ★マクロファージ細胞株の TNF α 産生を調節する当帰由来糖鎖構造

○三隅知夏¹、角田綾香¹、三浦優¹、土田貴志²、東恭平¹（¹東京理大薬、²小林製薬（株））

P-119 pm ★赤貝由来グリコサミノグリカンの構造解析

○田部貴子¹、米野雅大¹、亀山浩²、戸井田敏彦³、東恭平¹（¹東京理大薬、²星薬大、³千葉大院）

P-120 pm ★CDT1 の DNA 複製阻害作用に対する中央領域 β シート構造の寄与

○高山野々花、縄田裕子、津山崇、東祐太郎、多田周右（東邦大薬）

P-121 pm ★脂肪細胞の成熟化における脂肪酸合成酵素の発現に対するグルタミンの影響

○田邊幸太郎、東村和菜花、星澤久美、小松明音、高橋勝彦、東伸昭（星薬大）

P-122 pm ミクログリアに対する *cis*-9, *trans*-11-conjugated linoleic acid (CLA) の抗炎症メカニズムの解析

○藤田融¹、前田智司²、市川聖介¹、小原孝英¹、蔵野穰一郎¹、良知竜太郎¹、安田響¹、松田佳和²、駒野宏人³、田邊由幸¹（¹横浜薬大・薬理学、²日本薬大・臨床薬理学、³岩手医大・薬）

P-123 pm ★フェロトーシス抑制効果を持つビタミン K のマウス認知機能への影響

○加藤彩花¹、渡邊莉菜¹、川村悠²、高木基樹¹、廣田佳久¹
（¹芝浦工大院・生命創薬、²芝浦工大・生命科学）

P-124 pm ★滑膜肉腫細胞における生存関与因子 BRD9 の機能解明及び創薬基盤研究

○岩切陸¹、石場智彬²、五間裕二¹、加藤かざし²、原田彩佳²、宮ノ入洋平³、岩崎憲治^{2,4}（¹筑波大院数理、²筑波大 TARA、³大阪大蛋白研、⁴筑波大 QiLS）

P-125 pm ★CDT1 と MCM 複合体の相互作用が複製フォークの進行へ与える影響

○縄田裕子、高山野々花、津山崇、東祐太郎、多田周右（東邦大薬）

P-126 pm 培養細胞 3T3-L1 における糖質代謝酵素発現に対する *Gynura procumbens* の影響

○鈴木知佳、大原厚祐、懸川友人（城西国際大薬）

P-127 pm ★Glyoxalase I 阻害によるアポトーシスへのリン酸化酵素阻害剤の効果の検討

○森茂千尋、高澤涼子（東京理大薬）

P-128 pm ★Purpurogallin による Glyoxalase I 阻害とアポトーシス誘導効果の検討

○奥山葵、藤岡紫穂、高澤涼子（東京理大薬）

P-129 pm ★Glyoxalase I 阻害剤と xCT 阻害剤併用による培養がん細胞死の検討

○七部綾香、寺井麟太郎、白川理彩、高澤涼子（東京理大薬）

P-130 pm 部分肝切除ラットにおけるトリヨードチロニンの肝再生促進効果に関する検討

○福田健人、森山晃匡、森山晃匡、大城珠央、齊木萌南、茂木肇、荻原政彦、木村光利
（城西大薬・臨床薬理学研究室）

P-131 pm ★卵巣漿液性腺癌細胞株におけるヘパラナーゼの細胞遊走への関与

○滝澤初音¹、山崎万葉¹、高橋勝彦¹、奥輝明¹、玉田裕²、中島元夫³、
入村達郎⁴、東伸昭¹（¹星薬大、²(公財)ときわ会常磐病院、³SBI ファーマ、⁴順天堂大）

P-132 pm ★天然保湿因子産生酵素の発現制御機構の解明

○池野朱音¹、清水璃音¹、岡部由唯¹、廣林かな²、富永ななみ³、日下部竜聖³、
浅井将^{1,3}（¹横浜薬大・薬・薬科、²横浜薬大・薬・漢方、³横浜薬大院・薬）

P-133 pm ★蛍光プローブを導入した蛍光標識ビタミン K 誘導体による SXR を介した転写活性および細胞内局在の評価

○山口華奈¹、安藤優成²、横井彩佳¹、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}
（¹芝浦工大・生命創薬、²芝浦工大・生命）

P-134 pm ★胆汁酸依存毒性評価系を用いた重篤 DILI リスク化合物の識別法の構築

○瀬高和泉¹、竹村晃典¹、樋口裕一郎²、上原正太郎²、米田直央²、末水洋志²、
伊藤晃成¹（¹千葉大院薬、²公益財団法人 実中研）

P-135 pm ★脳梗塞急性期に対するコハク酸エチルメチルヒドロキシピリジンの経鼻投与による脳移行性とその神経保護効果

○菊川千穂¹、佐野勝俊¹、柳原圭佑¹、長友太希¹、福田光良²、鈴木直人¹、鈴木豊史¹
（¹日本大・薬、²国際医福大・福岡薬）

P-136 pm ★リソソームを標的とした DDS 戦略における SLC46A3 の有用性評価

○小久保菜菜¹、齊藤直希¹、上田眞穂子¹、島倉千佳¹、苔米地隆人²、岸本久直¹、樋口慧³、
井上勝央¹（¹東京薬大薬、²北里大薬、³東邦大薬）

P-137 pm 糖尿病治療薬シタグリプチン含有新規グミ剤の開発

○浦川遥翔、栗田拓朗、大森崇行、瀧沢裕輔、中島孝則（日本薬大）

P-138 pm ★コリン/オレイン酸 イオン液体の経鼻製剤化に向けたモル比率および噴霧特性の評価
○山本眞斗, 鈴木直人, 山本陽菜乃, 塚本雅仁, 長友太希, 鈴木豊史 (日本大薬)

P-139 pm ★レセプトデータにおける浸潤大腸がん特定のためのアルゴリズムの構築
○大類 心¹、前田 絢子¹、吉田 直久²、石川 秀樹²、武藤 倫弘²、真野 泰成¹
(¹東京理大院薬、²京都府医大)

P-140 pm ★脂肪酸類がイオン液体介在ミセルの形成と可溶化能に及ぼす影響
○塚本雅仁, 鈴木直人, 長友太希, 鈴木豊史 (日本大薬)

P2 会場 (講義棟 3 2 階)

13:10~15:40

P-141 pm ★ヘパリン類似物質クリーム製剤において形成される被膜に及ぼすグリセリンの影響
○鹿村仁菜¹、深水啓朗²、小出達夫³、山本佳久¹ (¹帝京平成大薬、²明治薬大、³国立衛研)

P-142 pm ★水を添加した重質酸化マグネシウム製剤における水酸化マグネシウムへの変化率と水添加濃度との関係
○三谷真世¹、深水啓朗²、小出 達夫³、山本 佳久¹ (¹帝京平成大薬、²明治薬大、³国立衛研)

P-143 pm 糖輸送体 SLC2A2 は両方向性の尿酸輸送活性を有する
○豊田優^{1,2}、松尾 洋孝²、高田 龍平¹ (¹東大病院薬剤部、²防衛医大分子生体制御学)

P-144 pm 薬学 1 年生教育の工夫とメタバース環境の活用事例の報告
○齋藤博¹、和田重雄¹、木暮喜久子²、高田直樹²、岡崎達也²、菊地貴浩²、
安田高明¹ (¹日本薬大薬、²薬学ゼミナール)

P-145 pm 副作用データベースを用いた添付文書に記載のない有害事象の検討
○橋爪颯良、岩瀬晴信、村井はるか (日本薬大)

P-146 pm ★JPH203 による血液脳関門への免疫細胞接着抑制効果
○渡邊大夢、海老澤歩果、皆里明日香、森尾花恵、降幡知巳 (東京薬大薬)

P-147 pm ★薬物誘導性脂肪滴蓄積におけるシクロフィリン D の関与
○小板橋由樹、竹村晃典、伊藤晃成 (千葉大薬)

P-148 pm ★嚥下補助製品に対する意識調査～患者・薬学生を対象にして～

○岩井彩乃^{1,5}、八子佳奈²、中司梨紗^{3,5}、赤平樹彦^{4,5}、鈴木邦彦⁴、串田一樹^{6,7}、勝山壮²、
千葉輝正^{2,5}（¹キリン堂薬局、²日本薬大薬、³光晴会病院薬、⁴あやめ調剤薬局、
⁵日本薬大同窓会、⁶日本薬大薬科学、⁷昭和薬大）

P-149 pm 患者由来大腸がん細胞におけるタンキラーゼ阻害剤の効果予測因子

○馬島哲夫¹、陳明珏^{1,2}、大石泰智^{1,2}、村松由起子¹、瀬戸陽介¹、高松学¹、川田直美¹、
中村彩音^{1,5}、稲葉彩織¹、山口研成¹、白井文幸³、長山聡^{1,4}、片山量平^{1,2}、清宮啓之^{1,2,5}
（¹がん研、²東大院、³理研、⁴宇治徳洲会病院、⁵明治薬大院）

P-150 pm ★腫瘍深部の微弱低 pH 環境に応答する組織透過性薬物キャリアの開発

○竹内悠花¹、北村果鈴¹、松井諒²、板垣渚²、田中健一郎^{1、3}、濱進^{1、3}
（¹武蔵野大薬、²京都薬大、³武蔵野大薬学研）

P-151 pm ★修正エタノール注入法により調製した siRNA リポプレックスの PEG 修飾の最適化

○新川みずき、栗原彩、清水涼平、服部喜之（星薬大・分子薬剤学）

P-152 pm ★修正エタノール注入法による負電荷 siRNA リポプレックスの調製

○栗原彩、新川みずき、亀石実那、狩谷啓太、服部喜之（星薬大・分子薬剤学）

P-153 pm 高校生のがんに対する意識調査とがん教育

○秋山真衣（株式会社フォルマン）

P-154 pm 大建中湯の副作用報告の比較

○齋藤真穂¹、嶋田沙織¹、本間真人^{1,2}（¹筑波大学附属病院薬剤部、
²筑波大学医学医療系臨床薬剤学）

P-155 pm ★凍結乾燥 mRNA リポプレックスの遺伝子発現効率に及ぼす正電荷脂質および二糖類の影響

○別府莉緒、三村唯乃、清水涼平、服部喜之（星薬大）

P-156 pm ★樹状細胞へ mRNA を導入するためのリポプレックスの脂質組成の検討

○三村唯乃、別府莉緒、清水涼平、服部喜之（星薬大）

P-157 pm ★セラミド含有 PLK1 siRNA リポプレックスによる乳がん細胞増殖抑制効果

○福島千和、成井奈穂、清水涼平、服部喜之（星薬大）

P-158 pm ★マイクロ流路装置により調製した正電荷リポソームによる siRNA および mRNA のがん細胞への送達効率の評価

○山下由莉、和田結衣、川野久美、服部喜之（星薬大）

P-159 pm フロリナート FC-40-液体界面培養法による新規肺上皮モデルの作製

○岸本久直¹、鷹野遥¹、樋口慧²、白坂善之³、井上勝央¹（¹東京薬科大薬、²東邦大薬、³昭和薬科大薬）

P-160 pm ★心肥大モデルラットにおける verapamil のレートコントロール効果及び心血管リスクの検討

○永井理子、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大薬）

P-161 pm ★グアiazブレン含有温度応答性ゲル製剤の物性評価

○登坂俊也¹、村田大貴¹、芦澤一英¹、石井文由^{1,2}、今中侑子^{1,2}、小田馨¹、廣瀬香織¹、花輪剛久¹（¹東京理科大学、²明治薬科大学）

P-162 pm ★Metformin が慢性容量負荷による心臓リモデリングに及ぼす影響

○橋本翔太、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大薬）

P-163 pm ★Interleukin-12 mRNA 搭載脂質ナノ粒子による膠芽腫治療の可能性評価

○渡邊紀文¹、小俣大樹¹、宗像理紗¹、吉岡靖雄^{2~4}、鈴木 亮¹（¹帝京大薬、²阪大微研、³BIKEN 財団、⁴阪大院薬）

P-164 pm ★多職種介入による早期 CKD 糖尿病患者の eGFR 改善に関連する因子の後方視的検討

○木村正彦^{1,2}、大塚潔²、佐古兼一¹、前田智司¹（¹日本薬大、²自治医大さいたま医療センター薬）

P-165 pm ★生物発光を用いた SLC17A3 輸送機能評価系の構築

○青砥美侑¹、森田佳祐¹、佐藤圭恭¹、苫米地隆人²、山谷恋¹、高田龍平³、岸本久直¹、樋口慧⁴、井上勝央¹（¹東京薬大薬、²北里大薬、³東大病院薬、⁴東邦大薬）

P-166 pm ★Monocarboxylate transporter 7 の基質認識性と制御機構

○沖倉弘珠¹、國枝美里¹、樋口慧²、岸本久直¹、井上勝央¹（¹東京薬大薬、²東邦大薬）

P-167 pm ★Abcc4 KO マウスを用いた尿酸動態解析

○神沢陸斗¹、砂川大樹¹、中村吉伸²、高橋美羽¹、土肥裕太¹、大森慎也¹、中西猛夫¹（¹高崎健康福祉大薬、²群大院医）

P-168 pm ★ダバグリフロジン投与による術後代謝管理難渋症例に対する適切な休薬期間の検討：薬理作用の持続と組織移行性の関連

○高崎真在¹、久保田夏己²、小野紗英子²、田之岡璃奈²、前田絢子^{1,2}、真野泰成^{1,2}
(¹東京理大院薬、²東京理大薬)

P-169pm ★新規抗がん剤 M-COPA 類縁体のラットにおける体内動態の検討

○野口直哉¹、宮腰芹菜²、前田絢子^{1,2}、臼倉大輝³、塩釜龍之介³、金井大和³、村田貴嗣³、椎名勇³、真野泰成^{1,2} (¹東京理大院薬、²東京理大薬、³東京理大理)

P-170 pm ★要指導・一般用医薬品添付文書の Web 形式による電子化の評価

○疋田夕真¹、望月眞弓¹、江崎雄仁¹、河添仁^{1,2,3}、青森達⁴、大谷壽一^{1,2,3}
(¹慶應大薬、²慶應大医、³慶應大病院薬、⁴高崎健康福祉大薬)

P-171 pm ★血清カリウムに着目した処方箋検査値表記の有用性の検討

○木下真緒、川口諭、中野有紗、尾花美由樹、西川晶子、小鷹篤、飯塚敏美（望星薬局）

P-172 pm ★メトホルミンとくも膜下出血発症との関連：ケース・コントロール研究

○原亮介¹、前田絢子¹、亦野文宏²、能中陽平²、村井保夫²、森田明夫²、真野泰成¹
(¹東京理大院薬、²日医大脳神経外科)

P-173 pm ★肝取り込みトランスポーターを介した漢方薬と医薬品との薬物相互作用

○大谷真子、岩瀬優作、大桃悠翔、清水真紀、樋口慧、宮内正二（東邦大薬）

P-174 pm ★pH 依存性フルオレセイン輸送体によるジカルボン酸輸送

○加藤葵、田中千晴、清水真紀、樋口 慧、宮内正二（東邦大薬）

P-175 pm ★機械学習による薬剤性肝障害の特定に向けたデータセットの検討

○宮さくら¹、岩間裕城²、佐藤嗣道^{1,2}、堀雄史^{3,4}、八木達也⁴、川上純一⁴
(¹東京理大院薬、²東京理大薬、³薬局フォーリア、⁴浜松医大病院薬)

P-176 pm ★代謝阻害に基づく薬物相互作用の定量的予測法の精度比較

○大谷姫菜¹、小林萌南¹、大久保健二郎¹、加藤基浩^{2,3}、山岸 喜彰^{1,2}、
工藤敏之^{1,2}、伊藤 清美^{1,2} (¹武蔵野大薬、²武蔵野大薬研、³薬物動態塾)

P-177 pm 胃癌患者における血清 IMA 濃度と血清システイン含量の評価

○一水翔太¹、山田武史^{2,3}、土岐浩介^{1,2}、本間真人^{1,2} (¹筑波大病院薬、²筑波大医学医療系、³筑波大つくば臨床医学研究開発機構)

P-178 pm ★ダントロレンナトリウムの口腔内崩壊フィルム製剤化

○吉里花美、山下雄史、井上元基（星薬大）

P-179 pm ★粉末溶融積層法における固形剤組成の最適化

○大嶋麻由佳、山下雄史、井上元基（星薬大）

P-180 pm ★Nintedanib の慢性投与が慢性容量負荷による心肥大と 左室拡張能上昇に及ぼす影響

○貞方陽斗、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大・薬・薬物治療学）

P-181 pm ★カルボキシル化阻害活性を有する新規ビタミン K 誘導体の合成

○杉山俊誠¹、Xuejie Chen²、Jian-Ke Tie²、須原義智¹（¹芝工大院理工、
²ノースカロライナ大生物）

P-182 pm ★非環式レチノイドを上回る肝細胞がん増殖抑制作用 を有する誘導体の創製

○内藤里奈、廣川直希、田中紀圭、矢嶋伊知郎、須原義智（芝工大院理工）

P-183 pm ★結合タンパク質の同定を目指した新規ビタミン K 蛍光プローブの開発

○横井彩佳、伊藤優貴、山口華奈、廣田佳久、須原義智（芝工大院理工）

P-184 pm ★ナフトキノン環の修飾による神経分化誘導活性の向上を目指した新規ビタミン K 誘導体の合成

○岩野未歩、金子達哉、須原義智（芝工大院理工）

P-185 pm ★RNA 依存性 RNA ポリメラーゼおよび 3CL プロテアーゼを標的とする新規ビタミン K 誘導体の合成

○小田萌香¹、笹嶋美紀¹、金子達哉¹、岡本実佳²、馬場昌範²、須原義智¹
（¹芝工大院理工、²鹿児島大先端研セ）

P-186 pm ★医薬品副作用データベース（JADER）を用いた抑肝散関連処方安全性プロファイル解析：若年女性における副作用リスクの検討

○宮澤壽成、曾根秀子（横浜薬大）

P-187 pm 肝転移したトリプルネガティブ乳がん株の薬物耐性機構の解明

○鳥井晴菜¹、曾我真央¹、胡双双¹、小林稜大¹、王祺淳¹、相良篤信²、東伸昭¹、
加藤良規¹、里史明³(¹星薬大、²日本赤十字社医療センター薬剤部、³順天堂大)

P-188 pm インフルエンザウイルスヘマグルチニン取り込みにおける細胞表面へパラン硫酸の影響

○穴井優風¹、北瀬成康¹、有馬健昇¹、小林優紀¹、高橋勝彦¹、奥輝明¹、山本典生²、東伸昭¹(¹星
薬大、²東海大医)